

酒々井町郷土研究会々報

第58号

平成2年10月1日発行
酒々井町郷土研究会
編集部

「佐倉藩年寄部屋日記」抄(二)

相京 晴次

「佐倉藩年寄部屋日記」は、寛延二年(一八六九)一月から三年六月までの一ヶ年半にわたる日記であることは前回記しましたが、今回はこの間の寺院についてみてみましょう。

寺院の出張届

江戸時代は切支丹宗門禁制のために寺院は大きな役割を果していました。その戸籍も宗門改帳として寺院が握っていましたので、往職の出所・進退も勝手にできず、制限をうけていました。寺を離れる場合は藩への届出が義務づけられていました。寛延二年四月一日付の日記には、上岩橋妙楽寺からは次のような届書が出されています。(読み下し文に訂正、以下同様) 拙僧儀用事御座候につき、江

戸牛込七軒寺町仏性寺方江明後三日出立仕来候、七日中迄逗留罷有申度奉存候、之に依り願奉候、留守中寺役之儀本佐倉町妙胤寺相頼置申候、願之通り仰付下され候ハ、有難く存奉候、尤も罷帰次第御届申上べく候

御奉行所

四月朔日 上岩橋村法花宗妙楽寺
また六月二十五日には酒々井勝蔵院看主 敬信によって「拙僧儀、相州大山不動尊参詣仕度存奉候、往來五七日の逗留明日出立仕ル可く候、寺役の儀ハ本佐倉村文殊寺相勤候」とあり、寺院の住職が出張する場合に必ず届出が必要であり、この届出も、村の名主、組頭の奥印(証明)つきで奉行所への届出が義務づけられていました。このような届出は、墨村泉光

院、本佐倉村経胤寺、下岩橋村大仏頂寺からも出されています(届出文省略)。

説法・開帳・出開帳

江戸時代と現在では寺院活動に大きな隔りのあったことが感じられます。

今ここでその差をあげることは避けませんが、江戸時代の寺院は説法・開帳を盛んに行っていました。

成田山の出開帳は有名でしたが、一般寺院でも説法や開帳を多く行っていました。

寛延二年二月三日の記載には「田村恒右衛門申達候、本佐倉村、妙胤寺月並説法五ヶ年已前迄者毎月相勤候処、病身罷成中絶仕候、已前の通毎月寺役の説法相勤申度願書差出候、尤名主組頭奥書印願書差出候間、寺役之儀候得者、願之通申付ラレ候様挨拶候、願書郡方有之」とあり、二月二十九日付では

一、今度拙寺開帳中、昼夜説法仕候付、江戸谷中感応寺地中正福院歎洞と申僧昨日参、説法仕筈ニ御座候、是により御届申上候已上

己二月廿九日 下岩橋村大仏頂寺 御役所

とあり、その他説法・開帳・出開帳などが多くあったことが記載されています。

「広辞苑」によると、説法とは「仏教の教義をとききかすこと」とし、開帳は「厨子のとばりを開いてその中の秘仏を教人におがませること」とあります。

要するに江戸時代の宗教活動では寺院が説法や開帳を盛んに行っていたことが判ります。

開帳・出開帳は当時の一般的な宗教活動でありましたが、本来の目的は寺院経営の収入を得るためのものでありました。

その意味で成田山新勝寺の江戸出開帳は有名であり、これにより大きな成果をあげていたようです。



出版を祝う会開催

相京晴次さんの『成田街道酒々井の歴史散歩』の出版を祝う会を去る八月二十五日、墨コミユニティプラザに於いて開催いたしました。会場への交通の便が悪いため、果してどれだけ参加していただけるかが不安でしたが、崩眞議・町長・助役・収入役・町議会議長・多くの町議会議員の方々ははじめ総勢百八十名にも及ぶ出席の返事をいただき、大わらわとなる事態になりました。

当日は、朝早くから多くの方々の御協力を得て混乱のうちにも無事開会となりました。発起人挨拶、来賓の方々からの御祝辞をいただき、相京さんから出版に至る経緯や参加して下さった方々への御礼の言葉とともに著書の贈呈があり、各会よりの花束贈呈、乾杯、会食へと進んで成田のサザエの松花堂弁当をいただきながら歓談の一時を過ぎました。会場を分けるのは何としても避けたいと八十畳の和室一室と

なりましたので、それこそ立錐の余地もなく、行き届かぬところも多々あり、多大の御迷惑をおかけしましたことはまことに申し訳無く思っています。何卒お許し下さい。

ともかくにも一言お祝いをという方々が、こんなにも大勢おいで下さったのは一重に相京さんの人徳のいたすところと深く胆に命じられました。

「出版を祝う会」世話人

待望の書が発刊されました



永年『酒々井町史』の編さんに携わり、その刊行を終えられた相京晴次さんが、此の度『成田街道酒々井の歴史散歩』を国書刊行会より出版されました。

原始・古代から現代に至る酒々井町の歴史と各地の名勝・

旧跡・伝説などを判かりやすくまとめたもので、郷土を知る上でかかせない手頃なガイドブックとして御利用いただけたらと思います。定価二千円(税込み)で最寄りの書店にて取扱っています。

取扱書店

ブックショップヤマヤ

酒々井町東酒々井一

電話 0434-961598

ブックス京増

酒々井町中川三〇五

電話 0434-961436

まき書房

佐倉市栄町一九一五

電話 0434-851155

計報

前副会長で現在まで顧問として郷土研究会の諸事にさまざまの御教示をいただいていた木内忠治郎さんが、九月九日、満九十五才の天寿をまっとうされて御逝去られました。

若者以上の探究心と知識欲をもつて、まさに町の生き字引でいらっしやいました木内さんの御冥福をつしんでお祈り申し上げます。

合掌

郷土研日誌 (04.27日~9日)

Table with columns: 月日 (Date), 内容 (Content), 参加人数 (Participants). Rows include events like '佐倉道を歩く会' and '史談会'.

会計報告

渠内(旭・光町方面)見学会 7/12, 16, 17日

参加人数 92名

収入 156,400

支出 163,317

内訳

Table of expenses: 保険料 30,900, 有料道路代 1,500, 昼食代 6,060, 昼見分 119,600, 雑支出 3,800, 雑収入 1,257, 計 163,317

不足額¥6,917は郷土研の補足

酒々井町のミクリ

木本氏幹

单子葉植物ミクリ科のミクリは印旛沼や佐倉市で採集されて...



一昨年下岩橋の大仏頂寺下の水路で刈り取られた草のなかに...



下岩橋のミクリ 平成2.7.1 会田秀雄撮影

辛いご承諾いただいて刈り取りを免れた株は元気に生育しはじめ...

千葉県下で花茎をつけたミクリがなかなか見られない現在、下岩橋で皆様のご厚意により...

史跡文化財愛護活動

酒々井町の野生植物を誇るよ例となりましょう。(先)花茎は花序ともいいます。

空もようが気になる七月二十日(一日)、上岩橋貝層の草刈り清掃奉仕に参加しました。

前日、四月十五日(一日)の当日は夜来の雨が残ったあとで、作業は中止だろうと思いはしたものの...

今回はその様なこともなく、少しの風も手伝ってくれて、とてもきれいになりました。作業が進むにつれ、だんだん暑くなり、大汗をかきました...

中、矢沢さんが蜂にさされてしまい、急いで田村さん宅に行き手当てをしてもらいました...



旭市周辺を訪ねて

尾沢 終竹

旅は道づれ世は情とは、この旅の中にあるのかなと思つた。

バス席に声をかけて下さつたのは、元自治会役員の高橋さんであつた。体調のすぐれぬ妻を残して参加したので、勇気が出て来た。ふれ合えば親しくなるのではあるけれど、飯岡観光センターでは、木内さんとのふれ合いがあつた。昔の中央台の様子や幼き頃の思い出話。木内さんは相京俳句会々長と同窓生。酒々井町の昔の姿が目に浮かぶ。旭市への旅は住民のふれ合いの場であつたのであろうか。

さて、東漸寺には木曾義昌の故事にもとづく地。元樞海の入江に水葬されたところに、墓碑が建てられていた。義昌の夫人万里姫は、武田信玄の娘で、父が諏訪湖に水葬されたことから夫義昌が水葬されたという。猿田神社にはテレビで有名な大岡越前守忠相の裁許状や、徳川の朱印状が社宝として保存されている唐風の古い神社であつた。

た。

これらのことの説明の中で、特に感動したのが石仏のことであつた。聖観音が邪鬼を踏みこらしめている姿に対して、本来の由来は仏の体温によつて邪鬼を戒めているという説明に同感であつた。大乘仏教の本旨は仏の慈愛にあるといふ、この奥義を会田会長が蘊蓄を傾けて研究されていることに敬意を表した。

惹きむ仏多くて 白木槿

更に飯岡観光センターでゆつくりと、昼食となつた。

海見るや涼 風こゝに留

めたし ぼろ酔ひの 屋敷もありて 舌平目

妙宣寺では鍋冠り日親の物語りに出合った。この寺の庭に枝垂れ桜の大樹が見事であり、桜の満開の頃のことを夢みて汗をふいた。

古利いま枝垂るる庭の 暑さかな



泉をかこんで一休み 泉のようにつぎつぎお仲間 くんでもつきないが、お仲間によもやまはなしが、あなたもどうぞ

帰路のバスで成東を通過した時高橋さん懐かしそうに、この地が故郷であることを告げた。きつと心を温めていたに違いない。

ふるさとの 畑緑野さやけしや

高橋さんにとつて暫く故郷の思いに耽つたことでありましょう。この稿を依頼されて筆を執ると梔子の花の香りが部屋に漂つて来た。

朝風に

くちなしの香や 旅思ひ

佐倉道

「佐倉道を歩く会」の最終回が七月九日に実施されました。終了式もあるのと多くの方々に呼びかけたので三十八人揃いました。

白井駅で下車して北側の広場で、青木さんに今日のコースの説明を伺つてから成田道標へ。現在は交通量が多

くのんびりしてはいられません。光勝寺、江原刑場跡などを終つたの印南小学校跡で大きな石の門柱が昔の僅立っているのを見ました。此処で暫く伴走の車を待ちました。此処で暫く伴走の車を待ちました。此処で暫く伴走の車を待ちました。

日本橋から佐倉まで長い旅も漸く終わり、御案内くださいました。御二方に心から厚く御礼申しあげます。ありがとうございます。ちなみに総参加人数は四五八人でした。

見学会案内

一泊見学会 1/8(日) 1/9(火)

久能山・館山寺方面

●日本平 泊ホテル 奈かると 0534-187-0030

静岡県静岡市清水南市の境にある有渡山頂(三ノノミ)北側北西側にゆるく傾斜する平原。日本武尊が東征のとき、賊を平らげてここから四方をながめたとの伝説に因んで日本平と名づけられた。此に日本アルプスともよみ、頂上からみる富士山の姿はすばらしい。

●久能山東照宮

静岡市根古屋久能山にある神社。もとは久能寺(天台宗)があり、戦国時代に武田信玄が城を築いたところ。駿府で死んだ徳川家康は遺言でこの久能山に埋葬された。一一五九段の石段をのぼる。日光東照宮より十九年前の一六一七(元和三年)の創建。祭神は徳川家康および織田信長・豊臣秀吉。徳川家康が愛したところといわれている。

●登呂遺跡

静岡市高松にある弥生式文化の代表遺跡。昭和八年(一九四三)工場建設のため水田を掘りおこしたとき偶然に見えられた。昭和五年(一九四七)から四年間発掘調査がおこなわれ、総面積一六五平方キロにわたり住居跡・倉庫跡・水田跡が発見され、特別史跡に指定。現地に水田跡・住居・高床式穀物倉庫などが復元された。

●館山寺

浜松市館山町。村柳半島の北端にある岩山。高さ四〇メートル。山腹に地名となった館山寺(曹洞宗)がある。火防の神である数葉三尺坊を祭らるものがある。岩山の周囲は奇岩奇勝が多く、五月六日の咲頃が美しい。

●曹洞寺

静岡県引佐町井伊谷にあり、七三三(天保五年)行基の開山した古刹。小浜遠州作の名園があるとして知られる。彦根に移るまでこの地を領した井伊家の菩提寺。井伊共保・伊井直盛などの墓とともに、徳川期の近藤康用墓もある。

●方向寺(奥山半僧坊)

臨済宗方向寺派の大本山。東海地方の代表的な禅寺である。元中年間(一一八四〜九三)後醍醐天皇の皇子無文禪師によって創建された。本尊は釈迦如来だが、鎮守の半僧坊権現が火防の神として信仰を集めている。静岡県引佐町奥山。

●旧姫街道

江戸時代に、西国の姫たちが好んで通った道。往時の面影を今にも残し、沿道には多くの史跡がある。

●県内見学会

1/3(X) 1/6(金)

●飯縄寺

甲府和泉にあり、天台宗の古刹。飯縄権現とも呼ばれ、寺には室町朝の五大明王像や、江戸時代の彫刻師

初代武志伊八の大作「牛若丸鞍馬山天狗の囃し」が本堂欄間にある。伊八は、鴨川市打墨出身で「波の伊八」ともいわれている。

●長福寺

大原市下不滝の田畑と山林に囲まれた閑静な所にある天台宗の古刹。源頼朝筆掛の楨(真指定)がある。鎌倉時代の初め、ここを訪れた源頼朝が、この木に筆を掛けたという伝説があり、イヌマキの老樹で、根回り四、五メートル、目通り幹回り八メートル、樹高が約九、五メートルの立派なもの。県下唯一の檜の鎌倉時代の染師如来坐像(真指定)がある。高さ一〇メートル、ヒノキ材の一本造り。

●海雄寺

妻岡町万本にあり、曹洞宗の無住寺。全長五メートルの木造では日本一大きいという釈迦涅槃像がある。(県指定文化財)

●名勝探訪

1/8(水) 1/3(木)

●六義園

1/8(水)

九月十八日実施の六義園は、台風十九号のため中止しましたが、十月八日に、紅葉を楽しみながら歩きます。酒々井から京成線まで日暮里へ、それから山の手線で駒込まで下車、六義園へ。昔の憎まれ大名 柳沢吉保の下屋敷跡です。賄賂で造った庭園の善

美を鑑賞して下さい。本郷通りを南下して富吉法門神社、名主屋敷、吉祥寺、養源寺、目赤不動天栄寺、高林寺、辻のやちを境、そして白山通りの白山神社、円乗寺や有名人の墓など、地下鉄白山駅から水道橋駅、秋葉原、上野駅と酒々井に帰ります。

●泉岳寺 1/3(木)

京成酒々井から西馬込行きに乗り、泉岳寺下車、御存知四十七義士の墓に詣でる。終って江戸時代の東海道の出入口高輪の大本戸跡、切支丹処刑跡、御田八幡、亀塚、幕末にフランス公使館が置かれた清海寺、そして慶応義塾大学(学生やOBはジュークと略称)の演説館と図書館(いずれも国指定重要文化財)を見る。ここで「もうたくさん」という人が多ければ、あと西郷隆盛と勝海舟会見の跡の碑を見ます。そはの「三田」から「酒々井」へ、また二、三料米はという人が多ければ、幕末のアメリカ公使館が置かれた善福寺、有栖川公園をみて、「宏尾」から「渋谷」「上野」「酒々井」へと帰ります。

お願い 名勝探訪当日、判断しにくいお天気の場合は、会合長宅に電話にてお問い合わせ下さい。

郷土研行事業内

平成2年10月~12月

	10月	11月	12月
史談会	13日(土) 午後1時30分 「古今佐倉真佐子」を読む会 中央公民館	10日(土) 午後1時30分 「古今佐倉真佐子」を読む会 中央公民館	8日(土) 午前9時 公民館集合 「古今佐倉真佐子」を読む会 現地学習(終了式)
名勝探訪 野草の会	16日(火) 京成酒々井駅 9:20出発 向島百花園 申込受付 10月30日(水) 9:00~10:00 場所 中央公民館ロビー 昼食代 ¥1,100円(受付日徴収) キャンセル 3日前まで お成座敷にてお昼をいただきます。 (雨天決行)	8日(木) 京成酒々井駅 8:22出発 六義園 名勝探訪 京成酒々井駅一駒込一六義園一 富士塚間神社一名主屋敷一吉祥寺 一養源寺一日本不動一天楽寺一高林 寺一辻のやちや場一白山神社一円乗寺 一地下鉄白山駅一酒々井 (雨天中止) ※実施に於て判断(かわる不確定な天気の場合は会場にお尋ね下さい。)	13日(木) 京成酒々井駅 9:09出発 泉岳寺方面 名勝探訪 京成酒々井駅一泉岳寺一高輪 大木戸跡一切支丹刑跡一 御田八幡一龜塚一清海寺 一慶応義塾大学の演説館と図書 館一酒々井 (雨天中止)
郷土史講座	10月7日(日) 午後1時30分 場所 中央公民館・視聴覚室 講師 千葉県文化財センター 柴田 龍司先生 演題 「本佐倉城とその城下」 酒々井町教育委員会と共催 最近の発掘成果から本佐倉城時代の酒々井についてお話いただきます。皆さまのご来聴をお待ちしております。		
一泊 見学会	10月8日(月)~10月9日(火) 久能山・館山寺方面 (雨天決行) 申込受付 10月3日(水) 9:00 場所 中央公民館ロビー 定員 45名(定員になり次第メ切) 会費 25,000円 キャンセル 日の余裕がないのでキャンセルはできません。 出発時間 伊篠(5:45) 農協がリンスタム裏(5:50) 日栄クリーニング前(5:55) 公民館(6:00) 朝食は用意します。 酒々井(6:00出発)ー清水ICー日本平(昼食)ー 東照宮ー壺呂遺跡ー静岡ICー浜松西IC ー館山寺温泉(自) 茶かめ(0534-87-0030) 館山寺ー意禅寺ー方広寺(昼食)ー姫街道 ー浜松西ICー酒々井(19:30頃) お帰路、東名、首都高速道の場合によっては 酒々井着の時間が遅くなることもありますので 予め御了解下さいませようお願い致します。		
県内 見学会	11月13日(火) A班(定員33名) 11月16日(金) B班() 申込受付ー10月30日(水) 9:00~10:00 定員ー各班33名。定員になり次第メ切です。 会費ー2,500円 キャンセルー受付日5日前まで 連絡先ー会田宅(98-4861) 大原方面 (雨天決行) 出発時間ー中央公民館 8:30 出発 コースー酒々井 8:30ー夷隅町・海雄寺ー 硯・長福寺ー昼食(藤吉)ーオレンジランド ー岬町・飯縄寺(飯縄権現)ー酒々井17:00 みかん狩り新鮮な魚の美味を楽しんで下さい。(雨天の場合はオレンジランドみかん狩りを中止し、他の見学にします) ※ オレンジランドのみかん山は山斜面を歩きます。歩きやすい靴を履いて来て下さいませようお願い致します。		

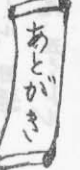
野草の会 10/6 (火) (雨天決行)

向島百花園

京成酒々井から上野行きで「閑屋」下車、道一
つ隔て隣りの東武「牛田」で浅草行き乗り換え三ツ
目の駅「玉の井」改め「東向島」下車、徒歩五、
六分で百花園ですが、ついでに少し手前の蓮華寺
へ寄ってみましょう。

ぐるっと廻って百花園、知られているように知られ
てないのが百花園。石碑が三十もあるなんて知っ
ている人ありますか？。とにかくこまめにゆくり
してお成座敷で昼食のおでん茶飯(費用千五百円)を
いただきますよう。

今日はこれだけいいと思いましたが、歩こうと
いう人が多ければ、四、五軒米歩いて水神森、隅田川
神社、梅若塚、木母寺などを廻って東武「鐘が淵」
から電車に乗って帰ります。



あとかき

猛暑・残暑・水不足・地震と一揃いそろった今年の夏、
如何お過ごしでしたでしょうか。青息吐息だった方
も、なんのこれしきの暑さぐらゐと気合を入れて頑
張った方も、本当に御苦労様でした。人間も年を
重ねてきますと季節季節を乗り切るのも重労働にな
るということがひし／＼実感されました。

でも、もう秋！
何をやるにもよい季節、郷土研究会の行事も盛り
沢山で、皆様の御参加をお待ちしています。